

2012年第1四半期(1-3月)課税出荷数量ヘッドライン

1. 市場全体の概況

- ◆ ビール・発泡酒・新ジャンル市場は、昨年の東日本大震災の影響の裏返しもあり、プラス(+0.8%)。
- ◆ ビール市場は、プラス(+2.5%)。
- ◆ 発泡酒市場は、マイナス(▲8.8%)。
- ◆ 新ジャンル市場は、プラス(+2.9%)。構成比は36.2%に。

2. キリン社概況

- ◆ ビール・発泡酒・新ジャンル計は、定番商品が好調だったこともあり、プラス(+2.0%)。市場平均を上回った。
- ◆ ビール計は、プラス(+0.2%)。
- ◆ 発泡酒計は、マイナス(▲2.2%)となったものの、市場平均を上回った。
- ◆ 新ジャンル計は、プラス(+7.5%)。市場平均を上回った。

《ビール・発泡酒・新ジャンル》

- 定番商品強化の効果もあり、「のどごし〈生〉」「一番搾り」「淡麗」「淡麗グリーンパベル」がプラスで着地。

《ビール》

- 「一番搾り」は飲食店の樽が好調に推移するなど、第1四半期としては3年ぶりにプラス(+2.0%)となった。3月からは首都圏エリアの飲食店を皮切りに、新食感の生ビール「一番搾りフローズン〈生〉」を展開。

《発泡酒》

- 「淡麗」、「淡麗グリーンパベル」、「淡麗W」の「淡麗」シリーズ全体でプラスとなった。

《新ジャンル》

- 新ジャンルカテゴリで圧倒的な販売を誇る「のどごし〈生〉」が、プラス(+5.9%)と好調に推移したことに加え、糖質ゼロの「濃い味」や、2月22日の発売後1カ月で、年間販売目標の約4分の1を突破した「麦のごちそう」が上乘せとなった。

※ 「一番搾り」「淡麗」「淡麗グリーンパベル」「淡麗W」「のどごし〈生〉」の対前年比は販売数による。

以 上